

# 里山スキー一場の存廃含めた自由討議を実施

反対



村岡 藤弥 議員

## 討論

討論とは？

議案の採決の前に、賛成、反対の意見をその理由を明確にして表明することで、自分の意見に反対している人や態度を決めかねている人に自分の意見に同調させることです。

賛成



遠藤 宏司 議員

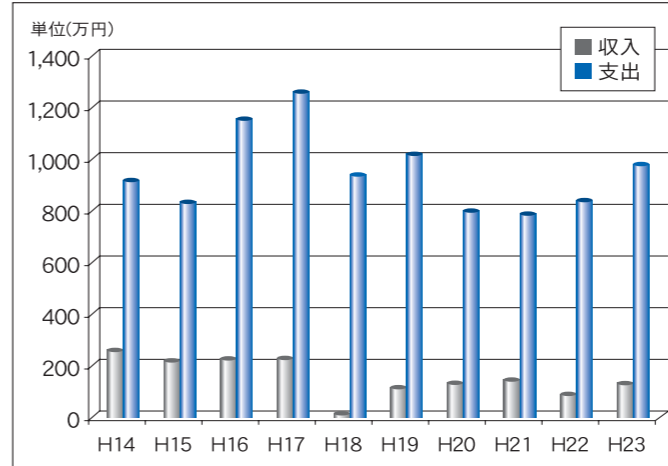
これまでの実績・結果をみて、町民議会、町執行部のほとんどが、町営で運営することは無理であるとの思いだと考える。そういった中でいろいろな模索をすることは良いことであるが、町営での運営は難しいということとは紛れもない事実だ。このような中、3月定例会でスキー場の運営は

行わない(スキー場関連予算がゼロ)とする25年度一般会計予算を全員賛成で可決しているにもかかわらず、他方で異なる判断をするようなことは、議会に対する信頼が失われてしまう。一度決定したことを覆すことのないよう判断していただき、私は不採択にすべきと考える。

私は、この「里山スキー場の存続を求める請願」は採択すべきと考える。里山スキー場のリフトは21年に鉄塔の塗装を行っており、さらに23年にはワイヤーの張り替えを行っている。現在リフトは非常に良好な状態であり、これを利用しないということは無駄になるのではないかと考える。また、24年度にリフト利用料を無料にした結果6千人を超える利用者が

訪れその6割が町外の方であるとの報告を受けている。この来訪者を何とかしても冬期間の町活性化に活かしていくべきであると強く思う。町民から批判を受けるのは平日の夜間、利用客がいない時に照明を付けているからであり、必要に応じて運用日時を変更するなどし、町民から批判を受けないようにすべきと考える。

### 里山スキー場の経営状況(過去10年)



※積雪状況により、各年度の営業日数が異なります。  
※平成18年度は雪不足により営業日数が0です。  
※索道技術管理者(町職員)の人員費は含まれていません。

里山スキー場はレジャー施設、観光施設として残すべき。町長に対しても約千人の署名つき存続要請書が提出されているので、冬期間の交流人口や町の活性化に向けて新たな形で活用していくべきだ。

里山スキー場廃止はやむなしと思う。町政懇話会などでは早急に改善してほしいとするたくさんの方の要望が出ているが、なかなか応えることができていない。町民のために浮いた経費を有効活用すべきだ。

町営での里山スキー場継続は困難と思う。採択した場合、町長ひとりに責任を押しつけることになる。近隣スキー場への土日送迎支援や民営化の検討など、スキー愛好家の要望を満たす方法を考えるべきだ。

この請願は、町営による運営ではなく、豪雪の町大石田に社会面、福祉面、体育面からも必要な冬の施設として存続させる手立てを模索すべきとする。願意なので妥当である。

なく赤字運営を危惧する発言もあった。今回町長の廃止決断は理解する。今後は町営以外の活用を考えた方が前途もあるし有意義であると思う。

請願について、議会では願意受当として責任を執行部に押しつけてきた面がある。このたびも町営では運営しないとする25年度予算案を全員賛成で可決しているにもかかわらず、町民の声を聴けば願意受当では、議会や議員としての一貫性を逆に厳しく問われる。

自由討議を行ってよかった。町民にとって大きな問題なので、議会として議員間の議論を事前にすべきであったと思う。結果的に委員会では不採択としたが、NPO法人など民間委託の道を早急に講ずるべきだ。

町でスキー場運営をやめるということは残念だが、住民が側溝整備などを要望しても「予算がない」といわれる状況であり、節約が必要だ。クロスカントリースキーは駐車場があり安心して送迎できるスポーツ広場での練習がベストと思う。



### 賛成8:反対1 賛成多数で 国に意見書を提出!

#### TPP(環太平洋連携協定)への参加に反対する意見書

◆要旨◆  
農業生産額が約3兆円減少することが見込まれ、医療や食の安全に影響を与える問題を含んでいるTPPには参加しないこと。

### TPP(環太平洋連携協定) 参加反対を求める請願

- ◆請願者 農民運動山形県連合会  
会長 花鳥賊 義廣  
山形県食健連  
会長 加藤 静吾  
山形県労働組合総連合  
議長 濱田 藤兵衛
- ◆紹介議員 関 幸悦  
◆請願要旨 農業への打撃など失うものがあまりにも大きく、国民合意もないTPPには参加しないよう国に対して意見書を提出してください。

賛成8:反対1で 採択